



㊤（上から）吉村県知事と樋口夫妻。表彰式で記念写真／記念品の盾には茂吉像 ㊤受賞報告のため来庁された樋口さん ㊤11月10日、道草ぶんこうでクリスマスリースづくりを開催。樋口さんを講師に、芸術にふれる体験活動も随時行っている

「道草ぶんこう」を拠点とした地域活動も大きく評価

樋口勝也さんが齋藤茂吉文化賞

芸術、学術の面で功績がある方に贈られ、山形県内では最も権威ある文化表彰のひとつとされる「齋藤茂吉文化賞」を、元金山町教育長である樋口勝也さん（七日町）が受賞されました。11月3日文化の日には、文翔館（山形市）で表彰式が行われ、その功績が讃えられました。

樋口さんは中学校の美術教師として、長年にわたり最上地域の教育の発展に寄与。町内にも「樋口先生に教わった」という方が多くいることと思います。教鞭をとる傍ら、自身の制作活動にも注力。専門は彫刻で、山形県総合美術展などにおいて多数の受賞歴をお持ちです。また、その彫刻作品は多くの教育機関に寄贈さ

れています。そうした地域と密着した創作活動も、地域づくりにも貢献していると評価されました。近年における顕著な活動が、「道草ぶんこう」の創立です。彫刻アトリエとして活用する一方、地域の文化活動の拠点として、伝統文化の継承や地域コミュニティによる地域再生運動を展開しています。実は、町芸術文化協会の立ち上げにも携わっており、多くの社会教育活動に貢献してきました。

樋口さんは、受賞に際して「身に余るこの上なく名誉なこと」と感慨深げ。「受賞は中学校の美術教師として共に歩んだ生徒や同僚の先生方、故郷を愛する社会教育関係者の

方々、そして廃校になった分校を利用し、中山間地に残された伝統文化を守ってきた高齢者の方々のおかげだ。このような多くの人間関係の中で、うまれた感動を彫刻に表現することができた」と話し、人間関係の大切さを実感したと受賞の感動を噛みしめていました。

彫刻家として55年——。10月には蔵史館を会場に彫刻展を開催し、多くの方が訪れました。樋口さんは「作品は我が子のようなもの。たくさんの方に見てもらえて嬉しい」と笑顔。今後は今までとは違った小作品を制作していきたいと話します。まだまだ素晴らしい作品を見ることができそうです。